

# えでびあん

10

立川と語ろう 立川に生きよう

October 2012

Écoutez Bien Vol.31 No.335



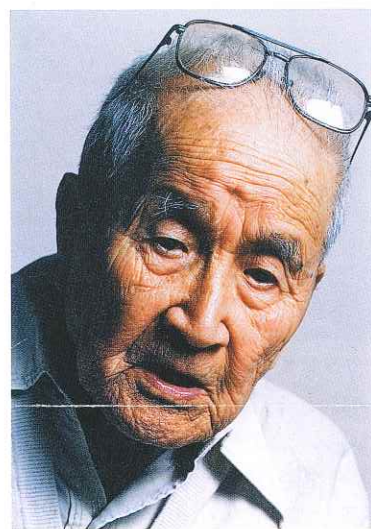
表紙の人／甘味処「石や」(浜中石材店)のみなさん(柴崎町)

# 大正時代から 昭和初期の立川北口

語り：故・岡崎清平さん

(平成15年夏にインタビュー)

強制疎開まで北口駅前で「伏見屋」を営んでいた岡崎さんに、前号に引き続き昔の立川を語ってもらう。



「お袋の方がしっかりしてね、2万円だったか3万円だったか貯めれば一生食っていけるっていうんで、大正15年に私と料理屋を始めました。表の店は食堂で、2階に座敷があって宴会ができました。爺さんと婆さんの時に府中から移って来て、親父は両親と気が合わないから自分で奉公に行って、仕立てものっていうか、足袋やシャツを習って来て、それで伏見屋足袋店というのを始めたんです。」

「芸者なんかいなかったから、昔は調布から呼んだんです。2階で芸者が「浅い川」なんていうの踊ると、下の北口の通りで「あはは」なんて観ていた人が大勢いたの(笑)。八王子から芸者は来なかった。というより、芸者を呼ぶような人は八王子へ行っちゃってたんだかね。立川に芸者屋ができてからはうちにも呼びました。当時の刺身なんてマグロっさりありゃしない。お椀の中味は、三つ葉とスズキかなんかの白身をちよっと茹でたものと蒲鉾か、3つ。酢の物はアジなんか買って来て自分でしめてね。6月になると鮎を出すんですが、あの時分には丸芝っていう家があって、その人が籠に入れて自転車で鮎を持って来たんです。鮎を1本焼いて、あとはハヤがありました。ハヤがあるとフライかな。焼いては出さなかった。焼いて出すのは鮎っさり。当時は突き当たりの武蔵野(立川通りと芋窪街道の二股になるところ)はまだ料理屋にはなってなかったような気がするなあ。」

「北口つうとね、丸屋っていう呉服屋と、竹の屋っていうお団子屋があったんです。山川自転車はその後、南に来たんです。金水は立川の北口をまっすぐのところ。運送屋さんは丸通。丸通はここでは貨物やなんかに乗せるのを引き受ける仕事でしたからね、伊藤理容店もあったね。日の出屋の饅頭は古いです。ここでいろんなことしゃべっちゃうと、後で先祖がそんなことしてたのかと言われちゃいけないからね(笑)。みんな、もういなくなっちゃったでしょ。中村亭もトミちゃんの上にカネちゃんという人がいて。ちいちゃんもいたね……。」

「お袋が3万貯めようって商売始めて、疎開の時に3万もらったんですけど、封鎖預金で使えない。使えるようになったら紙くず同然でしたね。」

今回は疎開して柴崎町に移ってからのお話です。

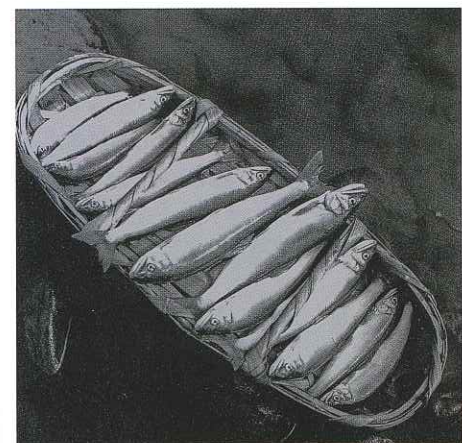
「ついこの間のことのようにだけど、駅の前の(店が)少なく、塚善とうちと中村亭ってのが3つ並んであったんですけど、皆もういないものね。若山牧水の碑の発起人ももうほとんどいないですね。私の名前もあるけど、牧水の歌でさえ、忘れちゃってね(笑)。」

若山牧水の歌碑  
(平成24年8月現在)



歌碑の裏側に発起人の名前が彫られている。歌碑は今号表紙の浜中石材店作。

資料：立川市歴史民俗資料館



多摩川の鮎。こうして大きさを揃えて籠に入れてきたという。

大正十一年頃の立川北口



# 「いま、会いに」 来てくれました

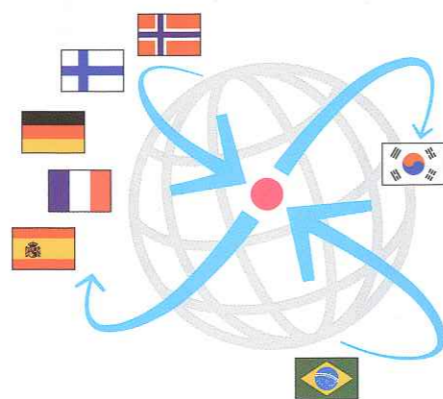
## 自分をエラーと呼ぶ作家 市川拓司さん

話が尽きない。

でも、すっごくおもしろい。

ベストセラー「いま、会いにゆきます」から9年。

世界中に翻訳が伝わる今、自分を語ってもらった。



**市川** 争い事が大嫌いです。絶対に怒らないから中学の時のあだ名が「お地藏さん」。結構ひどいじめにも遭いましたね、だってやり返さないんだから。ただ学年で2番目くらいに身体が大きかったから威圧感があったと思う。

——太ったことがない?

**市川** 昔は痩せの大食いでしたが、今はそんなに食べない痩せ。肉なんか食べると調子狂うんです。夏場は平熱でも38度近いから体温が上がっちゃうと、普通の人ならやる気が出るんでしょうが、オレは行き過ぎちゃって(笑)。何度も甲状腺の検査をしましたが、異常ない。生まれつき代謝が高過ぎる(笑)。動かないとイライラして来るんです。多動ですから(笑)。

——小説書いている時はどうするんですか?

**市川** 10分くらい書くと3分走り回る。うちのリビングは30畳くらいあります。そこを3分走るとまた戻って書く。先日、万歩計が2万歩になっていました(笑)。

——\*「いまあい」の主人公はパニック障害を持っていましたが、ご自身のことですか?

**市川** そうです。オレは20歳でパニック障害をおこして陸上をやめたんですが、それまでに800mで全日本学生ランキング30位くらいに入っていました。

——パニックで人生が変わり、その後は?

**市川** 出版社に入ったんですが身体がついていかない。そこからはもう花のフリーター人生です。楽しかったですね。地図会社でアルバイトしてました。地図がものすごく好きだった。実際に現地に行って調べる。1日20km歩くんですが、多動だからすごく合ってた。他の連中ってそんなに体力ないし、好奇心もないから手を抜くじゃないですか。オレは真面目過ぎて、ここはどうなってるんだろう、ここはマメにやって、そのうち熱中症おこして倒れた(笑)。でも逆に上司に気に入られて、こいつは手を抜かないって、時給はどんどん上がって。最後には、他の人が手を抜いているのを調べる仕事。ちょっとイヤな仕事ですけど。

——へええ(笑)。

**市川** みんなが調べたのをもう一回調べるとか、新しい施設や道ができるの見に行ってそれを地図に描くとか。当時は会社に知名度がなく苦労しました。人と接するのが苦手だから余計に。1番いいのは井戸端会議しているおばさんの輪に飛び込む。おばさんは1人だと口堅いけど、集団だとペラペラしゃべり出すんです。

——「いまあい」は映画化、DVD化もされて、500万人くらい観たそうですね。\*「セカチュー」とセットでした。市川さんの作品は、今は外国で評価が高い。

**市川** 世界中でウケていますね。今すごく嬉

しいのはフランスでめっちゃウケていること。フランスのアマゾン翻訳の部門では、村上春樹氏の次くらいに頑張ってます。オレ、すごいミーハーだから、フランスのWikipediaに自分が載ってるっていうのは嬉しい。今の日本は「ギスギス系」が盛り上がっていてオレの作品なんて時代じゃなくなっている。「きもミス(気持ち悪いミステリー)」が流行ってるでしょ? 後味の悪さを楽しんでいるようなね。日本の方がアウェイ感が強い。海外で話題になっているのは幸いです。

——市川さんの作品は昭和の臭いがしますもんね。

**市川** 名も無く貧しく美しく(笑)。藤沢周平文学の舞台が昭和に移った感じで書いてます。あの世界観。

——基本にご自分のことですか?

**市川** 「いまあい」だけじゃなくて、全部の作品が自分のことです。親父がうまいこと言ったと思ってますが、「普通の小説は、事件に普通の人が巻き込まれて行くけれど、お前は登場人物そのものが事件だね」って(笑)。だからオレの存在そのものが事件なんで、自分を描くとおもしろい話ができちゃうんですよ。自分としては一番無難なエピソードを書いています。本当はもっとすごい(笑)。

——たとえばどんな風に?

**市川** エッセーにも書きましたけど、オレは

授業中、座ってませんから。多動です。席と席の間を葡萄前進したり、3階の窓から飛び降りたり。無茶苦茶ですよ。3人で肩車してそのまま倒れて病院送りとか。仲のいい友達と普通にしゃべるのに屋根の上にいたり。電車も当時は窓が開くでしょう。ホームに入ると、停まる前に窓から飛び降りちゃう。自転車で、できたての高速道路に乗って怒られたりとか。とにかく多動っていうのはそういうのです。

——ちょっと引きます。

**市川** でしょ! ちょっと前だったらそんな話を喜んでくれる時代もあったけど、今は普通の人かもてはやされる時代だから逆風の感があります。

——ご自身が発達障害であるということをご公表してメディアにも登場されていますよね。

**市川** 福祉番組のゲストに呼ばれるっていうことは、オレは日本では有名な、お墨付きのアスペルガーかもしれない(笑)。ADHDとアスペルガー、どっちとも言えないと言われていたけれど、ま、その系列です。

——市川さん、お茶飲まれないんですね。

**市川** 自分で持ってますから。これはカミツレとよもぎ。興奮を抑えます。お茶を出して頂いても、飲むと興奮してしまうから飲まない。お酒も飲まないし、辛いもの、しょっぱいものも控えています。オレの主治医は「自家製の覚せい剤を打っているのと同じ状態」と言いますね。痩せているのはそのせいなんです。ちょっと食べると満腹中枢が働いてしまう。普通のランチだと食べきれない。それとアスペルガーは添加物に弱い。特にオレは香料に弱い。売ってるジュースとか飲むと具合悪くなります。知らない時は好きにやっていたんですが、わかってくると1つ抜き、2つ抜きして食べられるものが無くなってきた。残ったのが昭和の日本人の食事。要は、それ以降に登場したものを食べなければいいだけだ。オレは幸せですよ、奥さんが同じ価値観なんで。食事の手間ひまかけて素材から作るのが好きなんです。興奮しないようにテレビは観ない。世の中が変わってトラブルが多くなったから、街にもあまり出ない。

アスペルガーって言っちゃうと病気みたいですが、これは個性。倫理観が高いとか清貧であるとか、そういうのを集めてガチャッとまとめたのが、とりあえずアスペルガーと言うとか。20世紀最大の言語学者と言われた\*ヴィトゲンシュタインはアスペルガーの代表と言われているから、なにかこの脳は言葉を使い

じくり倒すのが好きみたいです。オレも作家になったし。

——話す時も、早口なのに言葉が正確で文章が完全。驚いています。で、パニックは……。

**市川** パニック発作っていうのは血中の二酸化炭素濃度とか乳酸濃度に反応するんで、陸上の800mが一番乳酸が溜まる種目。何度も繰り返して刺激を与えていくうちに大発作おこしちゃった。親父もおふくもパニック発作持ってますから、オレはサラブレッドです。

——乗り物に乗れない?

**市川** 「いまあい」が売れて大阪にプロモーションに行く時は文字通り命がけでしたよ(笑)。バイク以外の乗り物で箱根を越えたのは20年ぶりでした。奥さんにずっとさすってもらって。最近わかってきたオキシトシンっていうホルモン、親しい人にさされると恐怖心とか不安感、苦痛が和らぐんですね。生まれてから関東出たのは10回くらいしかない。飛行機は新婚旅行の時だけ。シンガポールに行ったんですけど、大宮から成田まではリムジンバス。大宮ですでにパニック発作起こしちゃって、成田に着いた時には気を失いかけていて(笑)。帰りの方が気が楽なんです。家から遠ざかる方が辛い。知らない土地で夕暮れが迫るとか、その時に迷子だったりしたらとんでもないことになる。医学的には脳の扁桃核が過敏にできていると言われますよ。

——不安なんですか?

**市川** 人生の基盤に不安感っていうのがある。だから対人関係も保守的になるし、あるいは倫理的に曲がったことができないとか。

オレはオレのことしか書けない。書評に「変



われ」とか書かれるけど、普通の人のことは普通の人が書けばいい。ワンパターンだと言われても、作家っていうのは自分のパーソナリティに一番合ったものを書いている時にこそ最高のパフォーマンスができる。変化はないかもしれないけど、進化、掘り下げはできますよね。オレはデビューした時にワンパターン宣言しています。そういうことが堂々と言えるのもアスペルガーだと言われている。——それでずっと純愛なんですか?

**市川** 自分が純愛しかしてこなかったから、不倫とか三角関係とか書けない。なんで不倫を求めるのかなと思っちゃう。オレから見るとピントがずれる。

——なるほど。

**市川** 「いまあい」の時にも、オレ、みんな勘違いしてるなって思ったの。純愛っていうのは、その人の精神の気高さとか誠実さとか思いやりで成立していると思う。だから「市川さんって誠実なんですか?」って言われるんだけど、世の中には死ぬほど奥さんが好きっていう人、いるんですよ(笑)。オレが一番好きなことやってるだけで、オレほどのエゴイストはいない。

——ああ、有名な写真家にもいらっやいましたよね、超愛妻家。

**市川** 芸術家とかアスリートに多いようですね。普通の人は新しいものに興奮する。でも、オレは自前の覚せい剤やっているような脳内分泌の高い人間ですから、毎朝奥さんに恋する。目覚めて奥さんを見る度に、「わあ、オレ、こんなステキな人と結婚してんだあ」って(笑)。

——わははは。奥様は幸せですよ〜。

**市川** 作家になって本当によかったと思うこと。それは普通の世界ではなかなか通じない話が、作家になったことで通じる人の輪に入れた。気の合う人同士でツーとカーがポンポン飛び交う。一時は売れた作家になったことで、今ある人間関係は楽しくしょうがない。自分みたいな個性の人間分布が、普通の世界には少ない。今の日本は完全にオレの時代ではない。売れたことが想定外で、結局はオレ自身が事件なんですよ(笑)。オレはエラー。小学校の担任に言われましたよ。「教師になって初めてだ。黙らない、止まらない」(爆笑)。

\*「いまあい」→『いま、会いにゆきます』の略称。2003年3月刊行、市川拓司氏によるベストセラー純愛小説  
\*「セカチュー」→『世界の中心で、愛をさけぶ』の略称  
2001年4月に刊行、片山恭一氏による青春恋愛小説  
\*ヴィトゲンシュタイン→ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン。オーストリア出身の哲学者、言語学者



# 街はこの手で守る!

## 立川市消防団 ポンプ操法審査会

火災、風水害に対して迅速に出動し、街やその住人を守るため、文字通り日夜訓練に励む消防団員。その練習の成果を披露する。

2012年7月22日 日曜日。緑町にある農林水産省旧立川政府倉庫敷地に於いて、立川市消防団10個分団が、それぞれ消防ポンプ操法を披露した。ここで披露するのは「手びろめによるホース延長操法」というもので、東日本大震災で被災した福島第一原子力発電所への放水作業でもこの操法が活用された。障害物があり消防ポンプ車やホースカーを使った消火活動が困難な際に用いられる最も基本的な操法。

消防活動が効果的に行われるには、渦巻く炎に敢然と立ち向かう消防精神と、千変万化の火勢を制圧する卓越した技能、さらに相当な激務に耐えるだけの強靱な体力が要求される。自己の命を守りつつ、街とそこに暮らす多くの命を守る消火活動。審査会は、決して単なる発表会ではなく、日ごろの訓練から体得した消防精神を披露する場だった。



副団長 宿谷 豊さん 宮岡 広行さん 豊泉 豊さん



優勝は第9分団、準優勝 第8分団、第3位 第3分団 の表彰



それぞれ最優秀指揮者、1番員、2番員、3番員、4番員の表彰



えくてびあんはリストのお店にあります。今月は 緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町・柏町・国分寺西町・幸町・若葉町・栄町・高松町 のお店です。

- 緑町 国立国語研究所 540-4300
国立極地研究所 512-0652
国文学研究資料館 050-5533-2900
こもれびの里 569-6277
花みどり文化センター 528-1751
昭和天皇記念館 540-0429
泉町 ハウジングワールド立川 527-1321
東京消防庁立川消防署 526-0119
Café はあもにい 512-7810
西砂町 パティスリー プルミエール 531-4835
パン工房 ゼルコバ 560-4544
CHINESE DINER 陶桃 531-3100
一番町 B3+ギャラリーウエルメイド 538-7250
fresh shop スーパーはしもと 536-2331
上砂町 JA 経済センター立川店 536-1824
JA 東京みどり立川支店 536-1821
陶工房 己流庵 537-6102
たましん 砂川支店 535-4411
BREAD&Sweets マニシェール 537-2202
砂川町 貿易風 534-6541
山梨中央銀行立川支店 536-0871
超こってりらーめん パワー軒 535-1665
ペーカリー リオンドール 535-4882
ピーコック 玉川上水店 538-3861
菅家医院 536-4602
うなぎ専門店 うなちゃん 536-6240
幸町 立川農産物直売所 536-2439
いなげや立川幸店 537-1820
たましん 幸町支店 535-5311
中華レストラン SANFUJI 536-3813
西武信用金庫 幸町支店 537-3101
お米屋さん 大黒屋 536-0851
江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 536-4800
至誠キートンホーム 538-2323
とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611
ドイツ製法ハム・ソーセージセーフ工房 535-5009
和洋菓子 たちばな 537-0347
BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
在宅療養支援診療所 立川在宅クリニック 534-6964
古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
国分寺西町 fermata 534-3334
若葉町 ふとんの青木寝商 536-6833
レストラン サラ 534-0602
リラ美容室 536-3048
浅見内科医院 537-0918
生鮮館 和光立川店 538-3121
まんまる助産院 ひまわりハウス 534-9877
あきた整骨院 534-1622
栄町 たましん 栄町支店 536-9711
いなげや立川栄町店 523-7201
ニュースサービス日経立川中央 522-4507
チーズ王国 本社 513-4101
彩食中華 須崎 507-0981
手作りパン工房 Bonheur~ポヌール~ 536-3207
FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700
相模屋書店 536-2476
メンズカットヤザワ 536-8738
森田接骨院 535-6240
高松町 丸助青果店 522-3542

zorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカイパーフェクTV：216ch
マイ・テレビアナログ：11ch
デジタル：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

「立川小唄」その後

8月号に掲載しました「立川小唄」。反響が大きくてびっくりしました。この小唄の存在は知っていましたが、実際に歌詞を読んだり歌を聴いたりしたのは、えくてびあんもこの機会が初めてでした。小唄の歌詞に含まれるいろいろな史実を、読者の皆さんが1つひとつ丁寧に読んでくださったこと、とても嬉しく思いました。

お電話やお手紙で感想をお寄せくださった方もいらっしゃいます。遠くは稚内市の横田耕一元市長から「立川はさすがが大会、取材の源は尽きない様子、感心しています」とお手紙をいただき、また大阪からも「空の都にはこんな歴史があったんですね」とメールをいただいたり。「歌詞をサラッと読んでしまわないで、1つひとつ年号を追って行くと、立体的に立川の戦前が見えて来る」など、立川を知らない地方の方に興味をもっていた

けたことはありがたいことです。中には、立川飛行機 技術部にお勤めだった方をご存知で、「あの方はここで働いていたんだなあ、そういえば『今日は残業になるから家内に伝えて欲しい』と部下に伝言を頼んだと聞いているが、相当忙しい花形職業だったんだろう」と当時の様子に想いを馳せたとも。

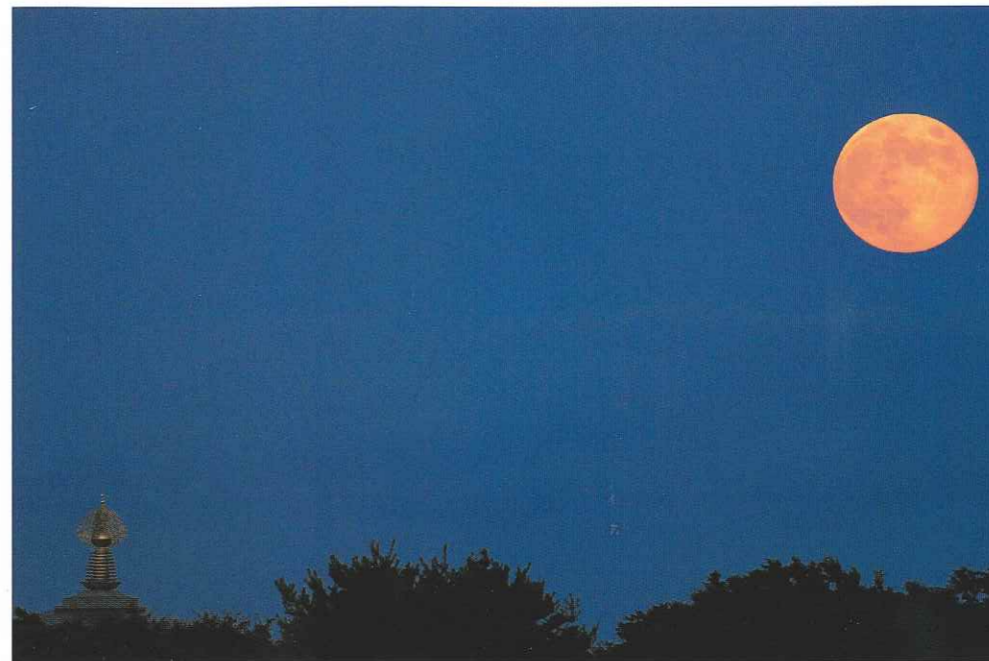
この解説をしてくださった豊泉喜一さんや、本村のことに詳しい鈴木功さん、加藤清さんからは、ここが違うよという指摘もいただきました。立川印刷所の鈴木閣郎さんがまとめた芸者さんによる小唄のCDがあることも教えていただきました。皆さんが興味をもってくださいました「空の都」。せっかくですから、ご指摘いただいた部分の訂正をさせていただこうと思います。8月号と引き合わせて、「立川小唄」再度お楽しみください。

- 二番 東京ばかりか浅川青梅 五日市から一走り
汽車だ電車だ川崎からも 空の都よ、立川よ
※川崎からも昭和四年十二月に現在の南武線が開通し南口ができた。
四番 鳩か蜻蛉かあのサルムソン
飛ぶよアプロ機ドルニエー機
シヤンがすましてフオツカーに乗った 空の都よ、立川よ
※サルムソンは二枚翼。赤とんぼと呼ばれた。
※フオツカーは翼が一枚の民間航空機。立川―大阪間を飛んだ。
十二番 五月節句の仲町通り若い憲兵さんの、うしろかげ
誰が見ていた懐かしがった 空の都よ、立川よ
※現在の曙町大通りのこと。
十三番 心気くさけりや貝がら坂へ
行こか太古(むかし)の貝掘りに
さつき花咲く日曜じゃないか 空の都よ、立川よ
※立川には貝殻坂が二つある。至誠学園近くと番場坂。ここでは番場坂のこと。
※月に光る中澤(日用水)を帯に見立てた。
十七番 誰が忘れたきれいな帯をしかも田圃の真ん中に
なんの中澤月夜の川だ 空の都よ、立川よ
二十四番 日本晴れだよ法螺貝が鳴る うちの太郎は、棒使い
笛だ太鼓だ獅子舞が来る 空の都よ、立川よ
※太郎は長男、惣領息子のこと。
※棒使いは、祭の露払いとして獅子舞に登場する舞子の役名。棒仕とも書く。

街の話題

8月は満月が2回ありました

写真は8月2日の満月です。月は太陽と違って何時にどこから昇るかを予測するのがちょっと難しい。スーパームーンの時もそうでしたが、この辺りだろうとスタンバイしていてもちょっとズレが。それでも満月は絵になります？



えくてびあん 配布先情報です



①柴崎町の菊川園さんでは、お茶や海苔に加えてこんなグッズも売られています。それは「とある自治体の地域振興グッズ」！立川市・立川観光協会と人気アニメ「とある魔術の禁書目録」とある科学の超電磁砲」のコラボグッズは、東京近郊のみならず、九州や中国地方からも求めにくるお客さんがいるそうです。伊勢屋さんやオリオン書房ノルテ店、信濃屋さんにも置いてありますよ。

②富士見町2丁目にあるcafe CuiSSIONでは、ちょっと他とは違うオーダーメイドケータリングをしています。例えば「アレルギー対応のレシピで」というご注文ならそのように。「エスニックで揃えて」とがチキンの丸焼きを入れてとかお客様のご要望には、できることは何でもお応えします。ワインも充実、この秋には改装して皆さまのご来店もお待ちしています。

諏訪神社例大祭 今年も盛大でした

8月24日宵宮から26日まで行われた諏訪神社例大祭。氏子町会では例大祭に合わせてそれぞれ賑やかにお祭りを開催しました。立川市外から訪れたお客さん、「こんなことを立川でもやっていたのね」と一緒に楽しそうでした。



③富士見町7丁目にあるフラワーショップ コミさんが移転しました。お花屋さんですが、洋服お直しもしています。お直しは、お電話いただければ受け取りに行ってお届けもするそうです。新しい店舗は、山中坂近く伊藤商店の2階です。看板ネコのナノちゃんも一緒にお引っ越しニヤヘン。

表紙の人

浜中トミ子さん、浜中久江さん、西口順子さん、齋藤沙奈さん、齋藤来吾くん

浜中石材店のお隣にある甘味処「石や」。お店を切盛りするのは西口順子さん。順子さんのお母さんが久江さんで、久江さんのお母さんがトミ子さん。順子さんのお嬢さんが沙奈さんで、沙奈さんの息子さんに来吾くん。つまり来吾くんはトミさんのやしゃごです！来吾くんのお父さんは石材店で働いていて、昼間はみ〜んなこのビルの中にいる。それってすごく幸せ！

かたこと

◆やしゃごってすごい。でも浜中トミさんはまだお若いんです。久江さんも、順子さんも沙奈さんも若い。当たり前のごとですが、ご結婚が早いと孫もひ孫もやしゃごも見られるってことですね。すばらしい！◆市川拓司さんのお話を2ページにまとめてしまうのはもったいなかった。発達障害のお話はとてもデリケート。でも避けて通れない社会になっていきます。知ることが相手を理解することにつながるかもしれないし、理解すれば未然に防げる事態もあるのではとお話を聞きながら思いました。◆立川市消防団、実は10個分団全部砂川地区にあります。約200人の団員は全員他の職業をもつ一般市民。仕事の傍ら小学校などの校庭で訓練を重ねます。大きなイベントや消防訓練には必ず出動してくれて、みんなの安全を護ってくれる。普濟寺や諏訪神社の火事の時も駆けつけてくれました。頼りになる存在です。◆岡崎さんの描いた地図、反響がありました。こちらは歴史民俗資料館に保管されています。また「立川の建物疎開の記録」という本にも掲載されています。昔の立川を懐古的に語る企画ではありません。今を経て未来につなぐ企画です。乞うご期待！

えくてびあん◎

10月号 第31巻 通巻335号

平成24年10月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



## アニメ「アルプスの少女ハイジ」

その昔、私や妹が夢中で見た「アルプスの少女ハイジ」。まだ見ぬ外国のライフスタイルが垣間みれて子供心にワクワクしたものだ。

ハイジと言えば「白パン」。クララの家で初めて見た白パンに「ペーターのおばあさんに食べさせてあげよう!」と、少女らしい「真心」でそっとナブキンに包んで自室の引き出しに。隠したパンはその後、ハイジの「真心」を知る由もないロッテンマイヤーさんに捨てられた。その冷たい仕打ちに、私は子供心に傷つき、テレビの前でハイジと一緒に大泣きした。

その日から忘れられない白パン。妹と自転車走らせ、パン屋さんに探しに行った。それを知っていた同居中のおばあちゃん、ある日ソックリの白パンを買って来てくれた。嬉しくて嬉しくて。妹と、ハイジの食卓みたいに平たいお皿にスープを入れて……その時は、白パンを食べられた事が只々嬉しかった。孫を思うおばあちゃんの無条件の「真心」。今頃やっと気付いた。そういえば、食の楽しさやお菓子作りを教えてくれたのもおばあちゃん。もう、ちゃんと話ができなくなってから、気がついた。ゴメンね、でもありがとう。

川村幸子（兵庫県神戸市）